

2021

12  
月号ぶうげん  
びりあ  
No.337

## 年の瀬、締めくくり、そして新年へ

校長 椎橋 秀行

12月に入りました。よく言われる「師走」(しわす)のほかにも、「極月」(ごくづき)などあわただしいイメージのある月です。そんな中で、「春待月」(はるまちづき)と呼ぶ場合もあるそうです。

「師走」などは、忙しさばかり、何となく焦りを感じてしまいがちですが、「春待月」は言葉の響きが柔らかく、そして、希望に満ちた温もりが感じられます。

現在、子供たちは、ロードレース大会にむけての練習を頑張る毎日ですが、来る春に向けてしっかりとした備えをしてもらいたいものです。そのためには、今年をしっかりと振り返り、自分がよくできたこと、よくできなかったことなどを確かめておくことが大切です。

さて、今年を振り返り、子供たちの成長ぶりはいかがだったでしょうか。学校行事や学習・生活を通じて、「頑張る姿」や「成長する姿」が感じられたのではないのでしょうか。

さらに、よりよい人間関係を築いていく上で、やはり最後は「思いやりの心」を育むことだと考えます。「思いやり」は、たくさんの人たちと接する経験を積んでいくうちに、相手の気持ちになって考えたり、同情・共感したりすることができるようになって生まれるものです。それは、他者の痛みや気持ちがわかるようになるから、思いやりのある行動や言葉がけができるようになるともいえます。

そのために

◎子供自身に周りから思いやってもらっている実感をもたせる

他人を思いやることができるには、まず自分の実体験が大切です。自分のことを気にかけてくれている、存在を認めてくれている・・・そんな実感が、子供たちに必要だと思うのです。

◎周りの大人がよき手本となる

見習うべき近くにいる大人が、周りにいる人の気持ちを大切に、人のためになることをしている姿を見せることで、同じような気持ち・行動が自然に身に付くと思います。

また、子供に対しても優しい言動や、人のために何かしたようなときは大いにほめ、自己中心的なわがままな言動や、人を傷つけるような態度は厳しく叱る、メリハリが大切なように思います。

この一年も、新型コロナウイルス感染拡大に惑わされた一年でした。来年こそは、感染拡大が終息し、不安のない平常の活動が送れるよう、そして希望に満ちた温もりを感じられる新年になるよう願うばかりです。

中学校3年生の大きな行事である修学旅行。母島の生徒は、小笠原村からのご支援をいただきながら、約10日間の旅をする予定でした。内地での多くの中学校は2泊3日の行程で行っています。ここでは3倍以上の行程で行われます。そこには、義務教育期間の集大成にもなるような様々なねらい、願いがこめられています。生徒には修学旅行を通して多くの経験や思いに触れ、より一層成長してほしいと考えていました。

約10日間の旅ですから、歴史的な探訪から職場や上級学校の訪問の進路学習まで、多種多様な取り組みが予定されており、それに向けて、昨年度より事前学習を重ねていました。日本の歴史、伝統、文化、衣食住、奈良・京都・東京の建造物や仏像、寺社仏閣などについて、それぞれの興味関心に応じて調べ、まとめて、発表する活動を行いました。特に苦労したことは、数ある見どころから行き先を選び、公共交通機関での行き方を組み立てることでした。慣れない時刻表や乗り換えを苦労しながら調べ、計画を立てた経験はこれからの人生の中にも生きるはずで

新型コロナウイルス感染拡大の影響で2度の延期を検討したものの、今年度の修学旅行は中止となりました。実際に行くことは叶いませんでしたが、10月25日(月)に国立科学博物館のVR展示の見学授業を実施し、今後は12月3日(金)にオンライン職場訪問、12月10日(金)に京都国立近代美術館とのオンライン授業などを予定しています。職場訪問に関しては、職業人としての生き方、仕事との向き合い方、働く意義などを、さらに深めていく活動にし、自分自身の生き方を見つめる一つのきっかけにできたらと考えています。京都国立近代美術館の授業に関しては、中学校2年生と合同で行うことで、より多様な見方を共有し、晩秋の京都の色や香りを画面越しからも感じられるような時間になったらと考えています。平安神宮のそばにある美術館から、歴史、文化に触れる体験をします。これらの取り組みは、12月の総合発表会、1月の学習発表会の場で、凝縮した内容をお伝えする予定です。生徒それぞれがこれまでに学習を通して感じたこと、考えたことの集大成です。ぜひご期待ください。

修学旅行が実施できなかった分、日頃の生活の中にその要素を散りばめながら、私達教員は教育活動を行っています。中学校3年生の生徒が、中学生でいられるのはあと4ヶ月となりました。母島を巣立つその日に向けて、「自立と自律」、「自覚と覚悟」を目標に日々支援をして参ります。ご家族、地域の皆様も、これからも変わらずにあたかな眼差しでのご支援、よろしくお願いたします。

## 北村校外学習

小学校 第4学年担任

4年生は総合的な学習の時間「北村探検隊」において、校外学習で北村周辺を見学しました。事前学習として、ローズ記念館を訪問し、調べ学習を行いました。

ローズ記念館には、戦前の北村の写真が2枚展示されていました。それらの写真からは、北港から延びる道路の両側に多くの家屋が密集していて、山頂近くまで段々畑が続いていた様子が分かりました。このことから、かなり多くの人々が北村に住み、生活していたことが分かります。

それにもかかわらず、なぜ現在の北村は無人となってしまったのでしょうか。調べてみたところ、戦時中の強制疎開が原因との記述を見付けましたが、子供たちは実感がわかない様子でした。また、現在の母島に匹敵する人口を支える飲料水は、どのようにしていたのでしょうか。

しかし、北村を自分の足で歩き、自分の目で見ることによって、今まで分からなかったことが見えてきました。実際に住居跡地に行ってみると、陶器やビンなどの生活用品とともに、雨水を貯めておくための貯水槽のような跡を発見することができました。さらに、道路沿いの小川に、年季の入った竹の筒を発見しました。おそらく戦時中まで使われていた水道管だと思われます。

さらに、脇道を少し入ったところに、慰霊碑がありました。慰霊碑の横には、卒塔婆がありました。そこには、「戦没者」という文字が書いてありました。ご承知の通り、母島の南にある硫黄島は、史上稀にみる激戦地となりました。そのような被害をできるだけ少なくするために、全島民（民間人）を強制疎開させたのではないかとということ、慰霊碑や卒塔婆を見て実感しました。このような総合学習を通して、事実を単なる知識として捉えるのではなく、そこに私たちと同じ人間が暮らし、生きていた証だということ、実感してほしいと思います。

## 南崎校外学習

小学校 第5学年担任

5年生は南崎に校外学習に行ってきました。出発前日11月17日の事前学習では小笠原自然文化研究所の方から、小笠原諸島の自然をとりまく環境や、母島における自然保護の取り組み、普段の生活では、めったに立ち入ることのできない南硫黄島の動植物の様子をうかがいました。

11月18日は晴天のもと、5年生4人は元気に南崎へ出発しました。自然文化研究所の方のお話を聞きながら、実際にネコ捕獲カゴを背負ったり、ネコを映すカメラを見たり、ネコ柵を見学したりしました。捕獲カゴはネコを安全に捕まえるためだけではなく、けがをしたり暴れたりしないような工夫があることも教えていただきました。特別な許可をいただき、ネコ柵の中にあるオナガミズナギドリ営巣地の営巣地にも入らせてもらったことで、間近に巣を見られて、巣の中にいる鳥の観察もすることができました。カツオドリが南崎の空を悠々と飛ぶ姿も見ました。学校での事前学習では、なかなかできなかった質問も、実際の現場で実物を見たり、触ったり、歩いたりしながら、その都度答えていただきました。また、海岸の清掃活動や磯の観察活動も実施しました。

今回の体験を通して、小笠原の自然を守る人々の活動や思いがよく分かり、自分たちも小笠原の自然を大切にしようという気持ちをもつことができました。ネコも鳥も同じ生き物として大切にされていることを知り、共存していることが分かりました。学習から感じたこと、考えたことをどのように伝えていくかを話し合い、学習発表会へとつなげていきたいです。

## 12月の生活指導

### 生活目標

「1年を振り返り、新しい年を迎えよう」

- ・学習のまとめをしよう。
- ・自分の生活を振り返り、来年の目標を決めよう。
- ・冬休みの計画をしっかりと立てよう。
- ・学校をきれいにしよう。

### 安全指導 6日(月)

「公共施設の使い方」が、重点指導目標です。体育館、村民会館、公園、保育園の園庭など色々な年齢の子供が集まる場所での安全な遊び方や、シャワー室、船客待合所など公共施設でのマナーの確認、自転車の置き場所を考えて行動することを指導します。

### 避難訓練 1日(水)

校内での火災発生を想定した避難訓練を行います。また、小学5、6年と中学生は初期消火体験も行います。緊急時に落ち着いて、素早く身を守るための行動をとれること等、普段の訓練の成果を確認する機会とします。

### 冬季休業中の学校図書館一般開放日

○期 間 令和3年12月27日(月)、28日(火)

令和4年1月4日(火)～7日(金)

○利用時間 9:00～12:00 /

13:30～16:30

※上履きをご持参ください。

※職員に一声かけてからのご使用をお願いします。

## 個人面談のお知らせ

○実施期間

12月6日(月)～12月17日(金)

○内 容

- ・2学期の学習や生活の様子
- ・冬季休業中の過ごし方 他

※特に話題にしたいことなどがありましたら、事前に担任までお知らせください。

## 学校公開・ロードレース大会のお知らせ

1 日時 令和3年12月8日(水)

◎学校公開

1校時から4校時・・・雨天でも実施

◎ロードレース大会

午後1時20分～午後3時10分

予備日①12月14日(火) ②15日(水)

2 場所

◎学校公開

- ・小笠原村立母島小中学校 各教室・特別教室等

◎ロードレース大会

- ・小学校1年・2年：校庭
- ・小学校3年・4年：駅伝と同じコース
- ・小学校5年・6年：駅伝と同じコース  
又は脇浜方面コース
- ・中学生：脇浜公園入口で折り返すコース

※車両通行止め 午後2時10分～午後3時00分

※雨天の場合は、ロードレース大会は延期となりますが、午前中の学校公開は実施いたします。

※当日は、児童生徒が車道を走るため、車両の通行等に関してご迷惑をお掛けすることになるかと思いますが、ご協力お願いいたします。詳しくは、別紙をご覧ください。

## 12月の主な行事予定

			16	木	委員会(中)
1	水	避難訓練	17	金	面談終
2	木	歯科検診	18	土	
3	金	都学カテスト意識調査(中1)	19	日	
4	土		20	月	中朝礼(中) クラブ(小)
5	日		21	火	
6	月	朝礼 安全指導 委員会(小) 面談始	22	水	
7	火	ロードレース前検診 SC在島	23	木	全校6時間授業 大掃除・周辺美化
8	水	学校公開(午前) ロードレース大会(午後) SC在島	24	金	終業式 2時間授業
9	木	3年生集会(小) SC在島	25	土	
10	金		26	日	冬季休業日始
11	土		27	月	図書館開放(12/27,28,1/4,5,6,7)
12	日		28	火	
13	月	朝礼(保健指導) クラブ(小)	29	水	
14	火	ロードレース大会①	30	木	3学期始業式 1月11日(火) 通常登校
15	水	ロードレース大会②	31	金	